

検討委員会①・学校 WS①・地域 WS①から見てきたコンセプトキーワード

検討委員会①・学校 WS①・地域 WS①から、生徒、教職員、市民が考える高野口らしい共通する 5 つのキーワードが見えてきました。

これらを元に、基本コンセプトを考えていきたいと思います。

「**自然が豊か**」 (山あり川あり自然豊か、みどりがある、水がおいしい など)

「**人と人とのつながり**」 (顔の見える関係、人がイイ！、人があたたかい など)

「**地域と共に育つ**」 (地域とのつながりが強い、ボランティア、学生と地域の人の仲が良い など)

「**歴史**」 (文化財がある、高野山が見える、街道筋の街なみ など)

「**地場産業**」 (パイル織物がある、地場産業で頑張る人がいてる、地場産業 など)

検討委員会①・学校 WS①・地域 WS①から見てきた高野口中らしい基本コンセプト

案はあくまでも「高野口らしさとは何か」という議論のためのものです。

検討委員会②の協議の中で、「高野口らしい」基本コンセプトをつくりあげていきましょう。

案 1	自然を感じられ、歴史ある高野口と共に未来を織りなす 世代を超えてのびのびと学び合える未来創造の学校
解説	高野口の豊かな自然と歴史に見守られながら、子供たちがのびのびと学び、これからの時代を生きる力を育んでいく姿を目指します。おじいちゃん、おばあちゃん世代から子供たちまで、地域の誰もが一緒になって学び合い、未来へ進んでいく、誰もが安心できる学校です。
案 2	豊かな自然と歴史を縦系に、子供と地域を横系に、 未来を織りなし、心豊かに、地域と共に育む、世界に誇れる学校
解説	高野口の誇る地場産業「高野口パイル」をイメージした、地域らしさがいっぱい案です。時間軸としての「自然や歴史(縦系)」と「子供や地域のみなさん(横系)」がパイル織物のようにお互いしっかり重なり合って、あたたかい関係を織り上げていきます。世界へ羽ばたく子供たちを地域みんなで育てる、素敵な学校です。
案 3	みんなが熱い想いをもって、高野口のみんなが集える学び舎 自然と歴史の中で、通いたくなる、みんなでつくる、みんなの学校
解説	「学校をつくって終わり」ではなく、完成した後も、そこで生まれる「子供達の成長」や「地域とのつながり」をみんなですべて大切に育てていこうという案です。「あそこに行けば、必ず誰かに会える」「なんだか毎日通いたくなる」そんな、地域の誰もが我が家のようにホッとできる、お互いの顔が見える、あたたかい居場所を目指す学校です。
凡例	：検討委員会①・学校 WS①・地域 WS①で出てきた視点のフレーズ ：上位計画で出てきた視点のフレーズ